

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
0 建築物の環境品質								2.9
Q1 室内環境								2.9
1 音環境				2.9	0.15	2.8	1.00	2.8
1.1 騒音				3.0	0.40	3.0	0.40	
1.1.1 暗騒音レベル				3.0	1.00	3.0	1.00	
2 設備騒音対策				-	-	-	-	
1.2 遮音				3.8	0.40	3.6	0.40	
1.2.1 開口部遮音性能		サッシの遮音等級: T-3を採用		5.0	0.40	5.0	0.30	
2 界壁遮音性能				3.0	0.60	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	3.0	0.20	
1.3 吸音				1.0	0.20	1.0	0.20	
2 温熱環境				2.2	0.35	2.4	1.00	2.3
2.1 室温制御				3.5	0.50	3.8	0.50	
2.1.1 室温設定				3.0	0.38	3.0	0.57	
2 負荷変動・追従制御性				-	-	-	-	
3 外皮性能		外皮に断熱施工(硬質ウレタン、押出スタイロフォーム)		5.0	0.25	5.0	0.43	
4 ゾーン別制御性				3.0	0.38	-	-	
5 温度・湿度制御				-	-	-	-	
6 個別制御				-	-	-	-	
7 時間外空調に対する配慮				-	-	-	-	
8 監視システム				-	-	-	-	
2.2 湿度制御				1.0	0.20	1.0	0.20	
2.3 空調方式				1.0	0.30	1.0	0.30	
3 光・視環境				3.3	0.25	3.1	1.00	3.2
3.1 昼光利用				3.0	0.30	4.2	0.30	
3.1.1 昼光率		[共]昼光率1.9% < 2.0% [病]昼光率3.6% 2.5%		3.0	0.60	5.0	0.60	
2 方位別開口				-	-	-	-	
3 昼光利用設備				3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 グレア対策				4.0	0.30	4.0	0.30	
3.2.1 照明器具のグレア				-	-	-	-	
2 昼光制御		ブラインド・カーテン+バルコニー底によりグレアを制御		4.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度				3.0	0.15	3.0	0.15	
3.3.1 照度				3.0	1.00	3.0	1.00	
2 照度均斉度				-	-	-	-	
3.4 照明制御				3.0	0.25	1.0	0.25	
4 空気環境				3.6	0.25	3.6	1.00	3.6
4.1 発生源対策				4.0	0.50	4.0	0.63	
4.1.1 化学汚染物質		規制建材は全てFを使用		4.0	1.00	4.0	1.00	
2 アスベスト対策				-	-	-	-	
3 ダニ・カビ等				-	-	-	-	
4 レジオネラ対策				-	-	-	-	
4.2 換気				2.0	0.30	3.0	0.38	
4.2.1 換気量				3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能		床面積: 15㎡ 開口有効面積: 1.97㎡ 1.97/15 > 1/10		-	-	5.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮				1.0	0.50	1.0	0.33	
4 給気計画				-	-	-	-	
4.3 運用管理				5.0	0.20	-	-	
4.3.1 CO ₂ の監視				-	-	-	-	
2 喫煙の制御		館内禁煙(喫煙コーナーなし)		5.0	1.00	-	-	
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	3.2
1 機能性				2.8	0.40	3.8	1.00	3.5
1.1 機能性・使いやすさ				4.0	0.60	5.0	0.60	
1.1.1 広さ・収納性		15.0㎡/人		-	-	5.0	1.00	
2 高度情報通信設備対応				-	-	-	-	
3 バリアフリー計画		バリアフリー新法の「建築物移動等円滑化誘導基準(望ましいレベル)」を満たしている		4.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性				1.0	0.40	2.0	0.40	
1.2.1 広さ感・景観				-	-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース				-	-	-	-	
3 内装計画				1.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理				-	-	-	-	
1.3.1 維持管理に配慮した設計				-	-	-	-	
2 維持管理用機能の確保				-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性				3.1	0.31	-	-	3.1
2.1 耐震・免震				3.0	0.48	-	-	
2.1.1 耐震性				3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能				3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数				3.3	0.33	-	-	
2.2.1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.23	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				2.0	0.23	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				5.0	0.09	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		床:塩ビシート20年 内壁:GL工法PB12 20年 天井:PB下地 30		4.0	0.08	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		厨房内ダクトは全てSUS製を使用		5.0	0.15	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		給水管・汚水管・雑排水管:硬質塩化ビニル鋼管B		3.0	0.23	-	-	

2.3 適切な更新			-	-	-	-	-
2.4 信頼性			3.4	0.19	-	-	-
1	空調・換気設備	節水型器具を採用している。可能な限り配管の系統を区分し、災害時の使用不要部分の低減を図っている 非常用発電設備を備えている。電源設備・精密機械の地下空間への設置を避けている。	3.0	0.20	-	-	-
2	給排水・衛生設備		4.0	0.20	-	-	-
3	電気設備		4.0	0.20	-	-	-
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	-
5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	-
3 対応性・更新性			3.1	0.29	3.0	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり			3.4	0.31	3.0	0.50	-
1	階高のゆとり	[共](1階全体)0.1 壁長さ比率0.247<0.3 [病]0.3 壁長さ比率0.48<0.5	3.0	0.60	3.0	0.60	-
2	空間の形状・自由さ		4.0	0.40	3.0	0.40	-
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	3.0	0.50	-
3.3 設備の更新性			3.0	0.38	-	-	-
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	-
2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	-
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	-
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	-
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	-
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.7
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	-
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.5
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.6
1 建物の熱負荷抑制		PAL値304.0/340(基準値) = -10.6%	4.0	0.30	-	-	4.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20	-	-	3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-	-
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	-
3 設備システムの高効率化		設備の高効率化による ERR=15.5	4.0	0.30	-	-	4.0
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	-
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	-
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.3
1 水資源保護			3.4	0.15	-	-	3.4
1.1	節水	洗面器:自動水栓 大便器:節水型を採用	4.0	0.40	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水再利用			3.0	0.60	-	-	-
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-	-
2	雑排水再利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減			3.3	0.63	-	-	3.3
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.07	-	-	-
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	-	-
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	-
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	再生骨材の路盤材・集材材	4.0	0.20	-	-	-
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.05	-	-	-
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体と仕上げ材が比較的容易に分別可能 (GL工法・ウレタン吹付)	4.0	0.24	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.2	0.22	-	-	3.2
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.32	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避			3.3	0.68	-	-	-
1	消火剤	スプリンクラー消火設備+消火器の使用のみ、ハロン消火剤を一切使用していない。	4.0	0.33	-	-	-
2	断熱材		3.0	0.33	-	-	-
3	冷媒		3.0	0.33	-	-	-
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.5
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2 86%	4.1	0.33	-	-	4.1
2 地域環境への配慮			3.5	0.33	-	-	3.5
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善		屋上面積に対して20%以上の屋上緑化を設けている	4.0	0.50	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-	-
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	-
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-
3	交通負荷抑制	適切な量の駐車場・駐輪場の確保	4.0	0.25	-	-	-
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25	-	-	-
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	-
1	騒音		3.0	1.00	-	-	-
2	振動		-	-	-	-	-
3	悪臭		-	-	-	-	-
3.2 風害、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	-
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	-
2	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	-
3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-	-
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	目的に応じた適切な照度レベルに設定している。照明範囲を適切にしている。	4.0	0.70	-	-	-
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	-